

## 特集「様々な成功事例に学ぶ～魅せる展示の工夫」にあたって

学芸員にとって展示に対する工夫は常に頭から離れないテーマだと思います。過去の会報でも何度か展示の工夫に関する特集を組んでいますが、近年はLEDによる照明やプロジェクションマッピングの活用など機材の進歩により新しい演出が可能になってきました。また、展示解説についてもパネルだけでなく専用のタブレット端末やSNSを活用することにより、来館(園)者のニーズに合わせたきめ細かい対応も可能になってきました。このように展示方法や広報の手段が多様化した時代に、改めて展示の工夫における事例を紹介することは意義のあるものと捉え、特集のテーマに設定しました。

日本新聞博物館の赤木氏には昨今のインターネット時代の情報環境の変化に対応した博物館のリニューアルについて紹介していただきました。

神奈川県立生命の星・地球博物館の大島氏と田口氏には、教材のキットを活用した企画展と出張授業に関する2題の論考をいただきました。

神奈川県立歴史博物館の角田氏には企画展の準備から各種の仕掛けや広報、出版物、展示構成の工夫など幅広い観点から具体的に報告をいただきました。

今回は特集記事としては投稿数が少なかったのですが、情報化社会に対応した新聞博物館のリニューアルオープンの事例や、自然史系の教材キットとその活用に焦点を当てた企画展の事例、人文系の企画展に関する一連の取り組み事例についても紹介することができたので、全体としてはバランスよくまとめられたと思います。

今回の特集を加盟館園の今後の活動の参考としていただき、相互の交流や連携につなげていただければ幸いです。

会報第88号編集委員会

藤岡 隆二(文責)

赤木 孝次

内船 俊樹

小井川 理

田口 公則